

まつりのべおか  
開幕

# ばんば太鼓軽やかに



ばんば太鼓打ちコンクールで軽快なばちさばきを披露する出場者(きょう午前)



蒸し暑い中、会場で棧敷席を組み立てる実行委員たち(きょう午前)

## 岡 空模様は気になりますが… 延 今夕 出会い 神輿や総踊り

延岡市の夏祭り「第42回まつりのべおか」(矢北浩十実行委員長)がきょう始まり、ばんば太鼓の軽やかな音が市街地に響き渡った。祭りは今夕が本番。子ども神輿(みこし)や出会い神輿、太鼓競演会、ばんば総踊りなどが予定されているが、雨の影響で変更の可能性もあるという。

中町から中央通にかけ、行委員約100人が特設の会場周辺では昨日からステージや棧敷席などを準備が始まり、きょう午前中は雨がっぱ姿の実

行委員約100人が特設された。市役所駐車場の特設ステージでは、昼前から祭

りのオープニングを飾る「ばんば太鼓打ちコンクール」が行われた。小学生から大人まで幅広い世代の出場者が練習の成果を披露。軽快なばちさばきに、訪れた人たちから大きな拍手が送られていた。実行委員会によると、午後5時20分ごろに祭りの開会を宣言するのうしを上げる予定。開会式に続き、小中学生1500人による子ども神輿、大人1200人が参加する出会い神輿と続き、午後7時45分からはばんば総踊り。

総踊りには、45団体約3000人の参加が見込まれている。

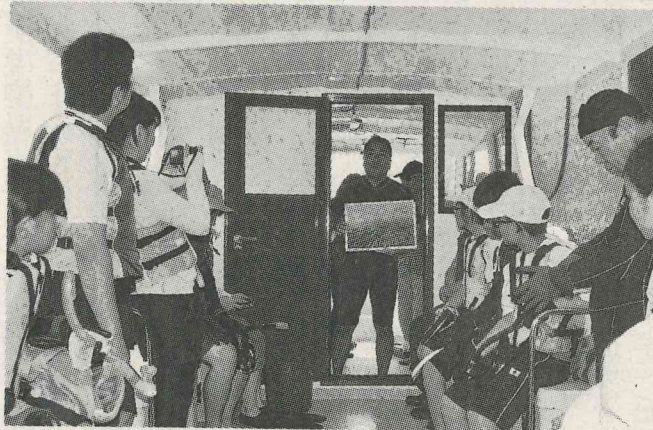
# 日本有数の素晴らしい海

## 島野浦小中生 シュノーケリング体験 延岡

延岡市島野町の島野浦中学校（渡部一博校長）と島野浦小学校（中川芳彦校長）は13日、国内有数のダイビングスポットとして知られる同町周辺海域でシュノーケリング教室を開き、生徒14人と児童18人が地元の澄んだ海を満喫した。

身近にある自然の素晴らしさを再認識し、環境とサンゴ礁はじめ貴重な観光資源の保護について学ぶ授業として毎年実施している。

このうち島野浦中学校



船上で島野浦の海についてレクチャーする高橋代表



シュノーケリングで地元の海を満喫する島野浦中生徒

の生徒たちは午後2時ごろに宇治湾から船でポイントへ。到着までの間、

講師を務めた延岡マリンスービス（同市川島町）の高橋勝栄代表から島野

浦の海についてレクチャーを受け、バラの花びらのように群生しているオ

オスリバチサンゴ、ダイバーに人気という方エールアンコウなど全国的にも

珍しい海洋生物の話に期待をふくらませた。

ポイントに到着した生徒たちは、さっそく海へとダイブ。シュノーケリングや箱眼鏡で海中を観察し、大きなサンゴの群生に歓声を上げた。休憩をはさみながら1時間近く海を満喫した宇和義浩君（1年）は「泳ぎは得意ではないけど海は好き。間近できれいなサンゴなどを見てこの自然を守っていききたいと思った」と話した。

高橋代表は「島野浦の人にとっては当たり前のものかもしれないが、ここは日本有数の素晴らしい海。もっと誇りに思っ

てほしい。その上で島内外の人たちが一緒に自然を守る機運を高めていければ」と話した。